

Tokyo Kasei Press

学園新聞

第73号

学校法人 渡辺学園
発行 総務部総務課
〒173-8602 東京都板橋区加賀
1-18-1 電話 (3961) 5226
東京家政大学大学院
東京家政大学短期大学部
東京家政大学附属女子中学校
附属女子高等学校・附属女子中学校
附属みどりヶ丘幼稚園

主な内容

- 菅谷定彦理事長 年頭所感…………… 1面
- 学生記者企画
4学部長にアンケート…………… 1面
- 長南町との協働プログラムを実施…………… 2面
- 学生記者企画
活躍しています卒業生…………… 2面
- 冬になると流行する感染症に
ご注意ください!…………… 3面
- 板橋区・モンゴル国交流20周年記念事業
「青少年モンゴル国訪問ツアー」…………… 4面

学生記者企画

学生記者が学園の“気になる!”を紹介 4学部長にアンケート!!



- ① 研究内容は何ですか?
- ② 学部の良いところは?
- ③ 上手な時間の使い方は?
- ④ 趣味は何ですか?

今回は、学部長の先生方に、アンケートをさせていただきます。

① 最近楽しかったことは?
② 家政大生にメッセージの6つです。それぞれの学部の魅力から、楽しかったエピソードまで、普段なかなか聞けないことばかりです。

③ 自分のお子さんや初のお孫さんも男の子だった岡先生。初めての女の子がとて嬉しかった事が伝わりま

④ ウォーキング(一日一万歩目標)、読書(夏目漱石、カズオ・イシグロなど)、料理

⑤ 8月に孫が生まれたこと。初めての女の子でとても可愛い!

⑥ 若くて頭が柔らかく、記憶力が良いときに大いに勉強してください。生涯を健康に暮らす、生活習慣や運動習慣を身につけてください。

⑦ 社会教育・生涯学習センターの関わり、コミュニケーションを大切にしている。人間理解と社会性、それぞれの専門性を獲得できること。

⑧ 「やるべきことリスト」を毎日作る。

⑨ 子どもが小さい頃は、子育てが趣味!

⑩ 孫の成長を見ること。毎月絵本を送っています。大学時代ほど、勉強に集中でき、世界を広げ、たくさんの友達と会える時はありません。自分を知る機会、自分をつくる機会でもありません。そして、何かに挑戦して、「これを

やった」と思える学生時代を過ごしてください。

⑪ お子さんが小さい頃は、パジャマを作ったり、読み聞かせをしたりしたそうです。

⑫ ストレッチとストレッチ反応、看護学生のコミュニケーション能力、看護教育法

⑬ 教員が意欲的。担任が親身に学習指導や相談に乗る。看護師、保健師、助産師、それぞれの場で活躍できる道を模索できる。国家試験を見据えて、一年次から手厚いサポートの元で学修できる。

⑭ 優先順位をつける。

⑮ ミュージカル(好きになったきっかけは、ロンドンで「王様と私」を見て感激したから)・能鑑賞、ガラス細工収集

⑯ 一年ぶりに親友と温泉旅行へ行けたこと。

⑰ 「何のために学ぶのか」「学びを何に活かしているのか」「自分が目指す目標は何か」を明らかにする努力をしてほしい。

⑱ ガラス細工は、先生がお好きなピエロやワイングラスを集めているそうです。

⑳ 小児科学、アレルギー学、臨床免疫学、子ども学

㉑ 保健、医療の考え方を強く導入したところ。教職員が一体となって仕事をすることができました。普段なかなか聞けないお話を聞いて、先生方の存在が少し近くに感じられた気がします。また、先生方からのメッセージは、どれも考えさせられる言葉ばかりでした。いただいた言葉を大切に、残りの学生生活を全力で過ごしていきたいです。

大4育支 高澤 千尋

新年の誓い

菅谷定彦理事長 年頭所感



学生の皆さん、新年おめでとうございます。一年の計は元旦にあり。新鮮な気持ちで新たな目標を定め、実行へ一歩を踏み出す良い機会です。

私が元旦に一年の実行計画を決めるようになったのは中学校一年生から二年生に向かう時でした。中一の夏に始めたテニスが良きコーチを得て日一日と上達するのが面白く、その秋にはテニスを続けつつ新聞記者になる、それには早稲田大学の第一政治経済学部に入るのがベストということまで決めてしまいました。

私が通学していたのは兵庫西宮市・香櫨園の甲陽学院中。学校に硬式テニス部がなかったので、週日は授業が終わると自転車で行き日暮れまでテニス、日曜も一日中テニスで

その結果、中一の一学期に同学年百五十人中七番だった好成绩が二学期には中位に急降下、両親や担任の先生を心配させました。甲陽学院は阪神間で灘中と並ぶ進学校で学生のレベルが高く、夜は眠くて復習も予習もしない必然の結果でした。

そこで私は中一の元旦に、早稲田大学政経の受験科目である国語、英語、日本史はクラスで一番になり、それ以外の科目は捨てる、テニスは先ず兵庫県中学校でナンバーワンになることを自ら誓い、両親、先生にも宣言しました。

結果は、国語など三科目の健康に留意しつつ新しい一年を大切に過ぎて下さい。「一生の計は少壮(若い時期)にあり」とも言います。

渡辺学園の「自主自律」という優れた理念と「愛情、勤勉、聡明」の生活信条を胸にきざみ、出来れば私が提唱し続けている「あいさつの慣行」も加えて、心身の健康に留意しつつ新しい一年を大切に過ぎて下さい。

◆板橋キャンパス
本部企画では、「人気ランキング」、「ミスター家政コンテスト」、「クリスマスパーティー」にフラワーアレンジメント・仮想フォト、「クラウン(大道芸)」、「日本茶講座」、「メイクアップ講座」など好評でした。学生・地域の交流講座として「武井壮トークショー」は学生と

「模擬店」「食堂コラボ」などが開催され、子どもから大人まで多くの方々にご来場頂きました。体育館では演奏、ダンス、アカペラなどの有志団体によるパフォーマンスが披露され、皆さんの拍手をいただきました。学科企画では、看護学科子ども支援学科それぞれの特性を生かし、来場者が楽しめるブースが完成しました。今年度も様々な企画が用意された後夜祭では、「参加団体の人気ランキング」などにより更に盛り上がり、学生・教職員・地域の方々のご支援の中、狭山緑苑祭実行委員の奮闘で成功裏に終了することができました。なお、実行委員が出店した模擬店の売り上げ40,300円は、「平成28年熊本地震災害義援金」として寄付されました。

◆狭山キャンパス
新学部が設立されてから3回目の狭山緑苑祭は、年々来場者が増え、ようやく東京家政大学狭山校舎の緑苑祭が地域の方々に定着して来たと感じられました。本部企画では、「お笑いライブ」「ふわふわバルーン」

第56回 緑苑祭 開催される
板橋10月22日(土)・23日(日)
狭山10月23日(日)

校祖渡邊辰五郎の生誕地である千葉県長南町との連携協力に関する包括協定調印式が行われました

平成28年8月31日、本学大会議室にて「東京家政大学及び東京家政大学短期大学部と長南町との連携協力に関する包括協定」調印式が行われました。この協定は、本学と長南町が包括的な協力のもと、相互の資源を活用することにより、地方創生の推進や住民福祉の向上、人材育成、学術等の発展に寄与することを目的としています。



川合貞子学長 平野貞夫町長

板橋区との連携に関する基本協定締結式が行われました

平成28年9月5日、板橋区役所にて、「板橋区と東京家政大学・東京家政大学短期大学部との連携に関する基本協定」締結式が行われました。この協定は、板橋区と東京家政大学・東京家政大学短期大学部が、互いに持つ人的・知的・物的資源を有効に活用し、包括的に連携・協力することによって、教育・学術研究の発展及び活力ある地域社会の形成に寄与することを目的としています。



坂本健区長 川合貞子学長

長南町との協働プログラムを実施

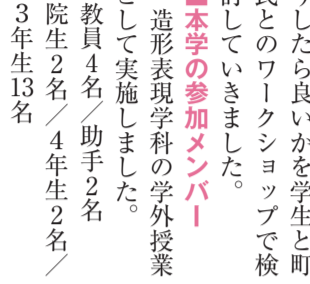
平成28年9月3日～5日

現在、長南町では本学校祖渡邊辰五郎の記念館建設事業が計画されており、今年度は地方創生加速化交付金を受け基本構想を策定することとなっています。

今回、基本構想を検討する中で長南町と本学との協働プログラムが計画されました。

計画する施設が、本学との連携の中で、町の活性化に役立つ内容にするにはどうしたら良いかを学生と町民とのワークショップで検討して行きました。

■本学の参加メンバー
造形表現学科の学外授業として実施しました。
・教員4名/助手2名
・院生2名/4年生2名/3年生13名



長南町特産レンコン畑の見学

協働プログラム内容

1日目(9月3日)
長南町の概要を知る講義と見学、長南宿のフィールドワーク(ヒアリング含む)夜に宿泊所での振り返り2日目(9月4日)
午前・公民館で前日の調査結果をもとにマップ作成。午後・住民とのワークショップ。

夜・交流会(長南町郷土料亭)

3日目(9月5日)
公民館で最終まとめ町長との記念撮影



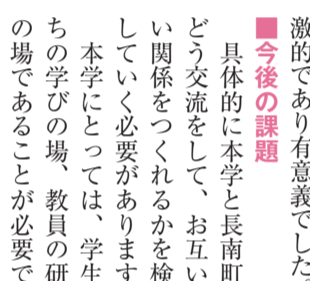
長南町特産レンコン畑の見学

協働プログラムの成果

・学生が参加することで、住民は新鮮な目で長南宿を再認識することができた。
・思いのほか魅力的な移住者が多くおり、今後のキーマンとなる可能性が見えた。

などの成果とともに、長南町にとつて、学生が訪れ町と交流することの良さが確認されました。学生たちにとつてもリアルな状況や大人とのやり取りによる学修は刺激的であり有意義でした。

■今後の課題
具体的に本学と長南町がどう交流をして、お互い良い関係をつくれるかを検討していく必要があります。本学にとつては、学生たちの学びの場、教員の研究の場であることが必要である。



町民と学生の協働ワークショップ

長南町に在任・在勤の方が本学を訪問しました

長南町では平野貞夫町長が案内役として、計画中の事業の紹介や町民に関係の深い施設等を巡る「うごく町政教室」を行っています。その一環として28年7月28日、本学の校祖であり長南町出身の偉人「渡邊辰五郎」の偉業と足跡を学ぶため、渡邊辰五郎に関する講義や博物館等施設の見学にたくさんの方がお見えになりました。

博物館の講義

川合貞子学長挨拶



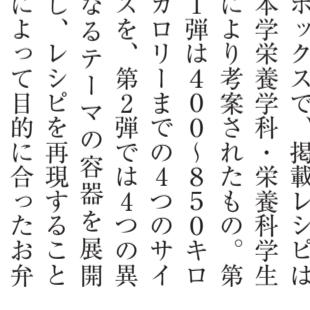
博物館の講義



川合貞子学長挨拶

「カロリーBENTO」第3弾が発売

本学と(株)ロフトとの共同開発商品「カロリーBENTO」に、平成28年9月下旬から第3弾として新たに保温機能付きのスープレジャーが加わり、全国のロフトで販売されています。累計総売上は1億円を突破し異例の大ヒット商品となっている。「カロリーBENTO」シリーズは、それぞれの容器のテーマに合わせた専用のレシピブックが付属されているランチボックスで、掲載レシピは本学栄養学科・栄養科学学生により考案されたもの。第1弾は400〜850キロカロリーまでの4つのサイズを、第2弾では4つの異なるテーマの容器を展開し、レシピを再現することによって目的に合ったお弁当を作ることができ、新しい健康管理ツールです。第3弾のテーマは「温活」ということで、スープとホットスムージーのレシピブックが付属されています。掲載レシピは本学ヒューマンライフ支援センター登録学生55名の応募の中から、栄養学科土屋京子教授を中心に実施した審査で選出され、その後の試作検討会で改良を重ねて完成した栄養科学学生による力作です。心も体も温まるレシピの数々をぜひご覧ください。



1日に必要な緑黄色野菜が半分摂れる酸辣湯スープ

活躍しています 卒業生

栄養学科・大学院の卒業生で現在はヒューマンライフ支援センター専門員准教授である内野美恵先生に学生記者がインタビューしました。内野先生は障がい者アスリートの栄養指導研究をしており、これまで3度のパラリンピックにスタッフとして同行しています。

スポーツ栄養学とは

日本のスポーツ栄養学はまだ30年弱の浅い歴史です。世界的にみると、スポーツが戦争に替る国家間の戦いのように捉えられるようになったことで、勝つという結果が重視された背景があります。勝つために薬物を使った競技力の向上が国家的に研究された時代もありましたが、これは選手の

健康を害し、フェアプレイ精神に反するためドーピングとして禁止されました。そこで「そもそも体を作るのは薬ではなく食である」とスポーツ栄養学が注目されるようになりました。

障がい者スポーツとの出会い

書店で「Active JAPAN」という障がい者スポーツの専門誌を手に入る機会がありました。障がいをもちた方がとてまかっことよく写っていて「素敵だな、こういう世界もあるのだ」と感動しました。当時私は自転車競技やトライアスロンの選手のサポートをしていました。自転車の車輪と車いすの車輪は同じもので、今までの経験が車いすのサポートに活かせるのではないかと考えました。更にタイムニング良く、家政大のすぐ近くのスポーツセンターで車いすのレーサーチームがボランティアを募集しており、早速連絡をしたことが始まりです。

選手とのかわり

栄養指導をする際は「あなたに足りない栄養素は…」と自分から話かけていくことはありません。マネージャーや監督と共にチームの雑用等を共にやる中で、選手の方から「食事のことで質問が…」という言葉が出てきた時に初めて栄養に関する話をするようにしています。

学生時代について

私が大学生のころ女性は就職後数年で寿退社をしてその後が専業主婦というのがロールモデルでした。しかし家族関係論の授業で「女性が経済的に自立することは当たり前なことです。女性も自分の分くらいは自分で稼いでいきなさい。」という話を聞き、一生涯稼いでいける仕事を探していました。バブルの絶頂期で就職がとてよかったのですが、恩師に相談して、

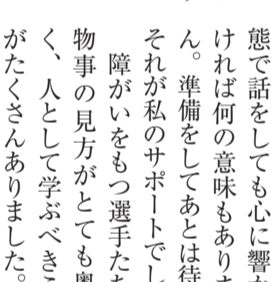
今後の目標について

東京オリンピック・パラリンピックが決まり、海外から日本が注目されています。茶道や華道など、道のものも外国の方にとって理念の通った物の考え方としてかっこいいとされています。私も外国の方に日本の食文化を紹介できるように取り組みをしたいと思っています。英語を勉強中です!

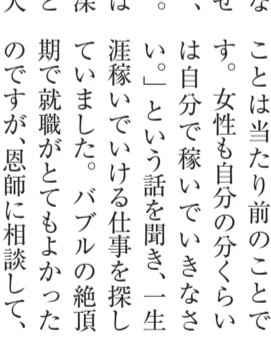
家政大生に一言

友だちだけでなくいろいろな世代の方と話をする機会をたくさん作ってください。本を読んだり映画を見たりすることもとても大事ですが、そういう情報を得たときに必ず誰かと話をし、意見を交換し、いろいろな考え方や価値観があると

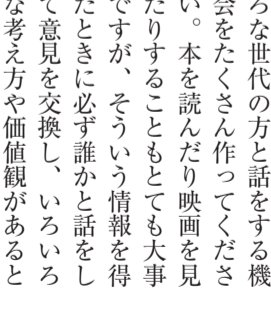
とても興味深いお話で引き込まれました



とても興味深いお話で引き込まれました



とても興味深いお話で引き込まれました



とても興味深いお話で引き込まれました



とても興味深いお話で引き込まれました

とても興味深いお話で引き込まれました

とても興味深いお話で引き込まれました

とても興味深いお話で引き込まれました

とても興味深いお話で引き込まれました

大3 菅士 北田 萌

大4 菅士 中村 祐希

大3 菅士 北田 萌

大3 菅士 北田 萌

大3 菅士 北田 萌

大3 菅士 北田 萌

大3 菅士 北田 萌

大3 菅士 北田 萌

大3 菅士 北田 萌

中学校・高等学校

「グローバル講演会」開催

9月17日(土)本校多目的ホールにて「グローバル講演会」が開催されました。講演者が開催されました。今回講演者として、日本IBMの代表取締役社長や経済同友会代表幹事等を歴任され、現在国際基督教大学理事長を務めていらっしゃる北城恪太郎先生においでいただきました。

その気持ちを維持するための「明るく・楽しく・前向きに」という昔からお持ちの標語をプレゼントしてもらいました。先生は、コンピュータストアにATMを初めて導入された方なので、A(明るく)T(楽しく)M(前向きに)には何やら運命的なものを感じられたそうです。

講演後の質問が大変に活発で、生徒たちの心に何が確実に届いたことが感じられました。

外国語指導助手の先生紹介

8月より、JET(語学指導等を行う外国青年招致事業)プログラムを通して、新たにシンガポール出身のシェリン先生が中学校・高等学校に派遣されました。笑顔が素敵なシェリン先生は高等学校2学年、3学年の授業で英語を教えています。また、シンガポールの文化についてわかりやすく写真等を用いて紹介してくれました。昨年度から派遣されているカナダ出身のアーリー先生と共に、English Roomで放課後英会話レッスンもしています。シェリン先生は小さい頃から日本文化に興味を持ち、これまでに京都や大阪、福岡など日本各地を訪れたそうです。



外国語指導助手 シェリン先生

幼稚園

10月22日(土)、幼稚園では「あきまつり」が行われました。

「あきまつり」は毎年、委員さんを中心にお母様方が楽しい企画・運営をしてくださいました。今年海をテーマにしたアスレチックや海賊船をモチーフにしたボール投げ、帽子やエプロンなどの衣装作り、手形をスタンプできれいに飾る製作、英語でダンスなど各部屋に楽しい遊びのコーナーが作られました。

海のアスレチックでは、魚が描かれた風船の道を進んだり、長いトンネルをくぐったり…。トンネルの先では宝箱探しもできるような遊びもありました。子どもたちも宝箱を見つけると大喜びでした。



「海のアスレチックにチャレンジ！」

保健センター

冬になると流行する感染症にご注意ください！

冬に流行する感染症として、インフルエンザやノロウイルスがあります。人から人への感染力が強いため、無理せず自宅で療養し、無事に医療機関で受診しましょう。

	インフルエンザ	かぜ
症状	高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、咳、のどの痛み、鼻水など	のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、咳、発熱など
発症	急激	比較的ゆっくり
特徴	強い倦怠感など全身症状	鼻、のどなど、局所的

- ◆予防
 - 流行前：予防接種を受け
 - 流行時：①人混みや繁華街への外出を控える②外出時にはマスクを着用③うがい、手洗いを④加湿器などで湿度を上げる
 - ◆かかったかと思ったら①マスクを着用。早めに医療機関で受診し、医師の指示に従う②安静にし、十分休息をとる③水分を補給する④発症後5日を経過、かつ解熱後2日を経過するまで出席停止
 - ◆潜伏期間：24〜28時間
 - ◆症状：吐き気、嘔吐、下痢を繰り返す、腹痛、37〜38℃の発熱
 - ◆予防
 - ノロウイルスに有効な薬はないため、予防が大切！
 - ①帰宅後、トイレ後、調理前、食前はしっかりと手洗
- ◆日頃から、バランスの摂れた食事、十分な睡眠、適度な運動を心がけ、体力や免疫力を高めよう。
- ◆換気も大切！寒くても空気の入れ替えをしましょう。

図書館



University Library

丸善での選書ツアーでオススメ本を選びました♪

う〜ん…どっちがいいかなあ

学生ボランティア団体「Library Mates」知っていますか？

書店前で記念撮影

学生と職員と一緒に図書館を盛り上げる！

読み聞かせ班は、附属みどりヶ丘幼稚園で読み聞かせを実施しましたよ〜

図書館総合展に参加してきました！

みな夢中で聞いてくれました♪

読み聞かせの様子

板橋図書館

狭山図書館

春期休業中の貸出

卒業生のみなさん 貸出中の図書はすべて 3月17日(金)までに返却してください。

企画展「西洋服装史Ⅱ」

好評のうちに終了

着装体験

運動会が終わり街や保育園の飾りもハロウィンであふれ、興味を持つ子どもたち。「変身したい！」「お菓子をもらえようね」と言葉が出てきました。そんな子どもたちのワクワクからかき出した森のおうちでも今年度は、3・4・5歳児クラスでハロウィンの活動を行いました。造形活動の日にお化けの衣装を作ります。ハロウィンの由来である、亡くなった人の魂が帰ってくる日、お化けへのおもてなし、連れて行かれないよう、怖いお化けの格好をする事を伝えると、「どうしたら怖くなるか」を考え、コウモリやきばをつけたドラキュラ…などたくさんのお化けを作りました。

どれにする？好きなクッキーを選びます。

トリックオアトリート！楽しみにしていたお菓子です！

企画展「西洋服装史Ⅱ」では、実物のドレスを中心に展示し、18世紀後期から20世紀初期のヨーロッパの女性服の変遷をたどりました。ドレスの美しさはもちろん、それを支える服作りの技術や丁寧な手仕事に感動したという声が多く聞かれました。装いにかける人々の情熱と、服の歴史の奥深さを感じていただけたようです。

博物館

企画展「西洋服装史Ⅱ」

好評のうちに終了

着装体験のイベントでは、19世紀半ばに流行したクリノリン・スタイルのスカートに身をつけてもらいました。クリノリンという下着で膨らませた、大きなスカートをはいた参加者の方は、現代の服とは違った着心地に戸惑いながらも、お姫様気分を楽しんでいらっしやいました。

今回の企画展は5月に開催予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

着装体験の様子

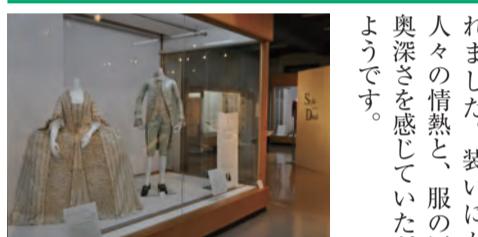
運動会が終わり街や保育園の飾りもハロウィンであふれ、興味を持つ子どもたち。「変身したい！」「お菓子をもらえようね」と言葉が出てきました。そんな子どもたちのワクワクからかき出した森のおうちでも今年度は、3・4・5歳児クラスでハロウィンの活動を行いました。造形活動の日にお化けの衣装を作ります。ハロウィンの由来である、亡くなった人の魂が帰ってくる日、お化けへのおもてなし、連れて行かれないよう、怖いお化けの格好をする事を伝えると、「どうしたら怖くなるか」を考え、コウモリやきばをつけたドラキュラ…などたくさんのお化けを作りました。

森のおうち

運動会が終わり街や保育園の飾りもハロウィンであふれ、興味を持つ子どもたち。「変身したい！」「お菓子をもらえようね」と言葉が出てきました。そんな子どもたちのワクワクからかき出した森のおうちでも今年度は、3・4・5歳児クラスでハロウィンの活動を行いました。造形活動の日にお化けの衣装を作ります。ハロウィンの由来である、亡くなった人の魂が帰ってくる日、お化けへのおもてなし、連れて行かれないよう、怖いお化けの格好をする事を伝えると、「どうしたら怖くなるか」を考え、コウモリやきばをつけたドラキュラ…などたくさんのお化けを作りました。



所属	貸出日	返却期限日
大1-3・短1	1/17(火)~3/25(土)	4/10(月)
院在学年	1/17(火)~3/10(金)	
大4・短2	1/17(火)~3/17(金)	3/17(金)
院卒業学年		



企画展展示風景

講演会「創られる身体、ファッションの野望」は多くの方に参加いただき、「ファッション・プレートと諷刺画、二つの視点の対比が面白かった」「あつという間の90分だった」といったご感想が寄せられました。能澤慧子教授のお話は、ファッションのもつ美しくも不可思議な魅力に改めて気づかされる、大変興味深いものでした。



着装体験

運動会が終わり街や保育園の飾りもハロウィンであふれ、興味を持つ子どもたち。「変身したい！」「お菓子をもらえようね」と言葉が出てきました。そんな子どもたちのワクワクからかき出した森のおうちでも今年度は、3・4・5歳児クラスでハロウィンの活動を行いました。造形活動の日にお化けの衣装を作ります。ハロウィンの由来である、亡くなった人の魂が帰ってくる日、お化けへのおもてなし、連れて行かれないよう、怖いお化けの格好をする事を伝えると、「どうしたら怖くなるか」を考え、コウモリやきばをつけたドラキュラ…などたくさんのお化けを作りました。



どれにする？好きなクッキーを選びます。

「青少年モンゴル国訪問ツアー」

板橋区がモンゴル国との交流20周年を記念して、板橋区内の15〜25歳の青少年をモンゴル国に派遣し、同世代の青少年同士の交流を深める「青少年モンゴル国訪問ツアー」を企画しました。大学生や子どもたちとの交流・伝統文化や大自然を体験してより広い視野を持ち国際社会に貢献する次世代の育成の推進を目的としています。

学園から旅行代金の半額の補助があり、10名の学生が平成28年8月5日(金)〜10日(水)の5泊6日に参加しました。参加した学生の体験レポートの中から抜粋して紹介します。

児童教育学科3年 宇留野 菜津さん

以前からモンゴルの文化や教育環境等に興味があり、実際に行って学びたいと思いましたが、



孤児院の子どもたち

英語コミュニケーション 学科4年 金光 麻衣さん

訪問前はモンゴル国に対して「発展途上国」というイメージしかありませんでしたが、実際に小中一貫校の生徒と交流した際、学習意欲が高いことに驚きました。

モンゴル国はビジネス人材の強化を目指すと共に、日本とモンゴルのビジネス交流を促進する支援があることを知りました。ビジネ

スだけではなく、小・中・高・大学や医療に関する教育にも力を入れていて、さまざまな支援があります。

モンゴルの子どもの数は年々増えており、学校の数が足りていないこと、日本に留学したい学生が多いというのを知りました。

急速な発展の裏側にはモンゴルの広大な自然・文化があり、それが継承されています。

しかし、経済発展が進んでいく中で、両立することができると、ウランバートルで見ると郊外で見る夜空は比喩物にならなくらい差があり、いつまでもこの星空が見える環境を保持して欲しいと感じました。

今回の訪問でもとても良い経験をさせていただきました。日本にも多くの良い文化がありますが、自分自身知らないことの方が多いです。

2020年の東京オリンピック開催には、多くの外国人の方が日本を訪れるので、今回自分が感じたように、日本の良さを伝えることができるように努めたいと思います。



「狭山市の魅力づくり事業」プレゼンテーション会が開催されました

平成28年4月に狭山市と締結した包括連携協定の一環として、本学を含めた狭山市内4大学の学生を対象に同年5月から行われてきた「狭山市の魅力づくり事業」の最終プレゼンテーション会が、11月9日狭山市役所にて行われました。



当日の様子

学園の防災への取り組み

今から94年前の大正12(1923)年9月1日、死者10万人余りに達する震度7の関東大震災が発生しました。この9月1日を、国民が「災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」日として「防災の日」とされました。

その後も、様々な災害が発生し、平成23年には東日本大震災が発生、同28年4月には熊本地震の発生、同10月には鳥取県中部を震源とした地震の発生等、その他風水害も含め災害が発生しています。

こうした災害に対して学園は、学生・生徒・乳幼児・教職員・その他関係者等の安全確保を最優先とし、さらに、発災後の緊急な教育・研究の継続が可能となるよう努めています。



10月13日に実施した防災訓練で消火訓練をする学生

学園は、地震や地震から誘発される火災等の災害発生に対し、組織的に対処するため「防火・防災委員会」を設置し、災害発生時の対応や防災訓練の計画・実施等を審議・検討しています。

その一環として毎年、板橋・狭山両校舎で学園祭前夜に、学生・乳幼児・教職員等が参加する、地震による火災発生を想定した通報、消火、救出、救護の避難訓練及び消火器による消火訓練、AEDを使用した応急救護訓練等を行っています。

「ユースファイル」

渡辺学園在学生特待生奨学金授与式開催

6月23日、本学創立130周年を記念して創設された渡辺学園在学生特待生奨学金授与式が行われました。

この奨学金制度は学業成績・人物について極めて優れた学生を選考・決定するもので、奨学生は後期授業料が免除になります。

今年度の大学60名、短大3名の合計63名が採用されました。

9月2日教職員を対象とした教職員研究会が開催されました。今年のテーマは「前進！自主自律の精神を未来へ」。

省エネルギー！節電のお願い

学園では、エネルギー需要の増大する冬季及び夏季に、化石燃料の消費を抑制し地球温暖化防止による環境への負荷削減のための省エネルギーと節電への取り組みをお願いしてきました。

東日本大震災は省エネ・節電への契機となりましたが、近年、電力等の消費が増加傾向となっております。

冬場の室温目標は官庁19度、民間20度(空調機設定温度ではない)となっております。ウォームピズの励行や、必要な照度を確保し、使用しない照明は確実に消灯するなど、無理のない範囲で省エネ・節電に皆様のご協力をお願いいたします(文部科学省HPの「冬季の省エネルギーの取組について」を参照)。

第一部基調講演では玉川

大学教育学部長稲葉興己氏に「大学教育の質的転換に向けて」玉川大学の取り組み」と題して講演いただきました。

第2部は教員と職員に分かれ、教員は「東京家政大学の4学部及び短期大学は、どのような人材を目標とするのか」、職員は「新島学園短期大学学長・岩田雅明オフィス代表岩田雅明氏による「社会で必要とされる大学、必要とされ続ける大学であるために職員がなすべきこと」について

研修が行われました。第3部の教職員カフェ懇話会では活発な意見交換が行われ、参加した教職員は研究会の目的を達成し、充実した研究会となりました。

朝日新聞出版「東京家政大学 by AERA 未来、しなやかに生きる」が発売



朝日新聞出版 2016年10月21日発売

「近みらい創造プロジェクト」実施

平成28年度新設された学園運営室の「近みらい創造プロジェクト」最初の企画として、「近みらい創造夕暮れカフェ」が11月8日に開催されました。

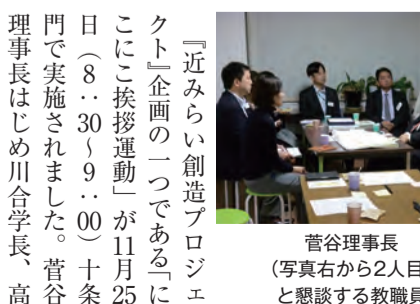
「近みらい創造プロジェクト」は11月25日(8:30〜9:00)十條門で実施されました。菅谷理事長はじめ川合学長、高木中高校長他教職員が元気に挨拶しました。

「近みらい創造プロジェクト」企画の一つである「近みらい創造プロジェクト」が11月25日(8:30〜9:00)十條門で実施されました。

菅谷理事長(中央)と学生



菅谷理事長(中央)と学生



菅谷理事長(写真右から2人目)と懇談する教職員